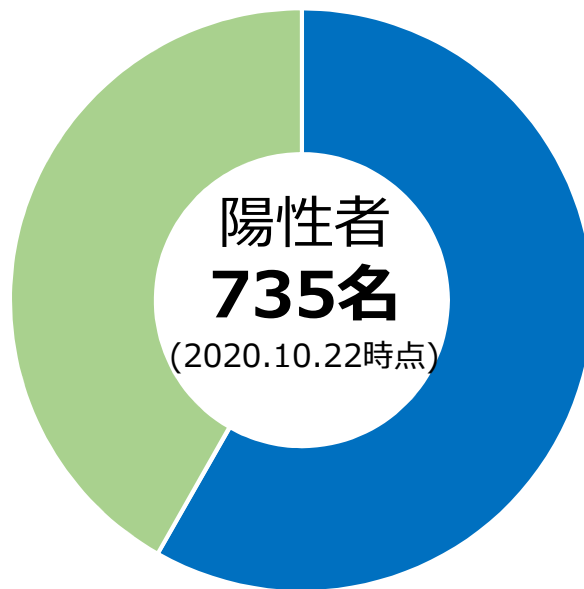
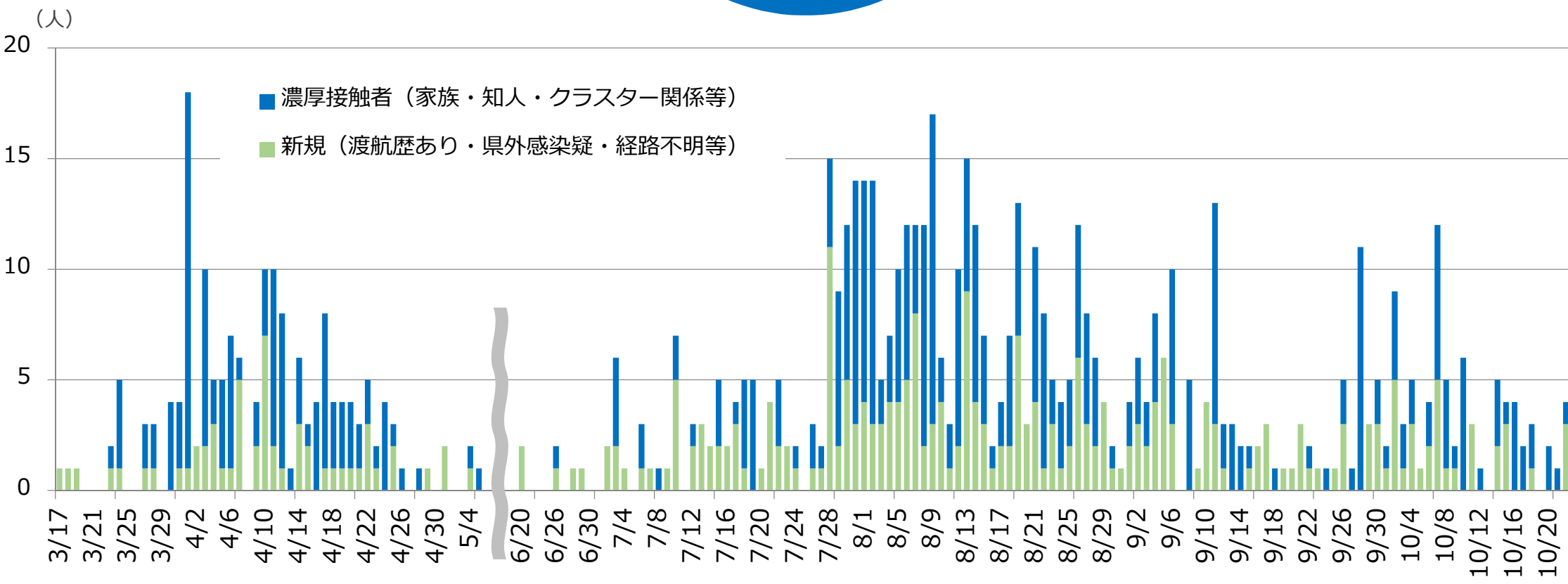


新型コロナウイルス感染症 県内の発生状況

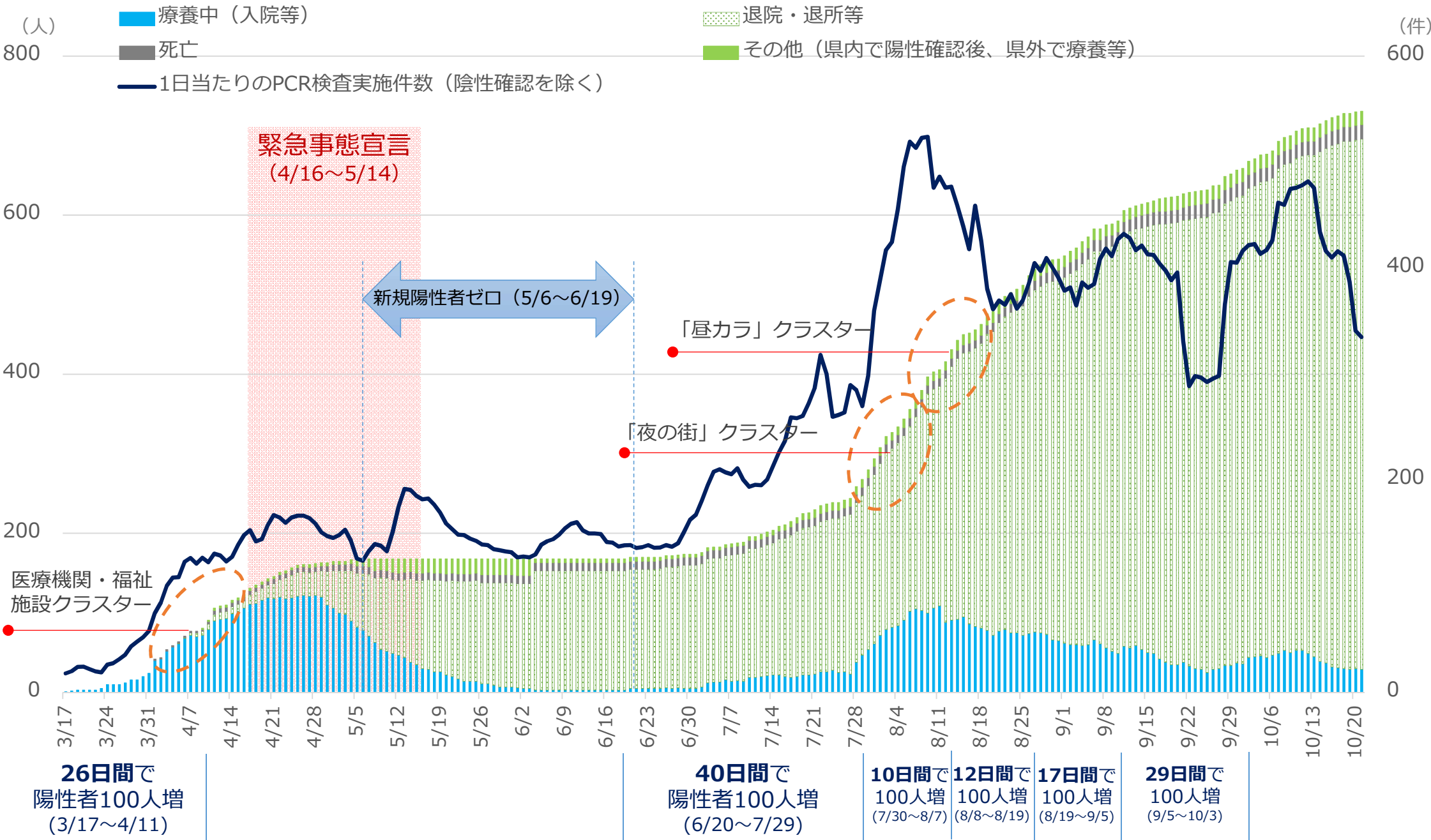
新規 307名
(渡航歴あり・県外感染疑・経路不明等)



濃厚接触者 428名
(家族・知人・クラスター関係等)

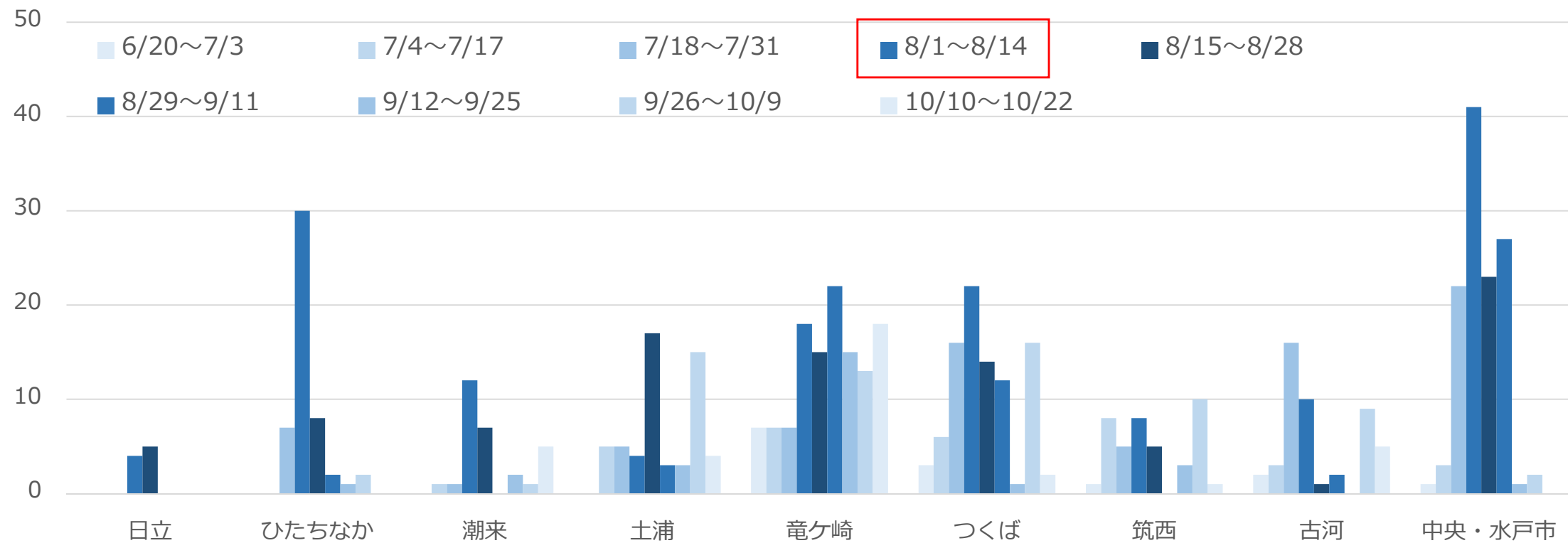
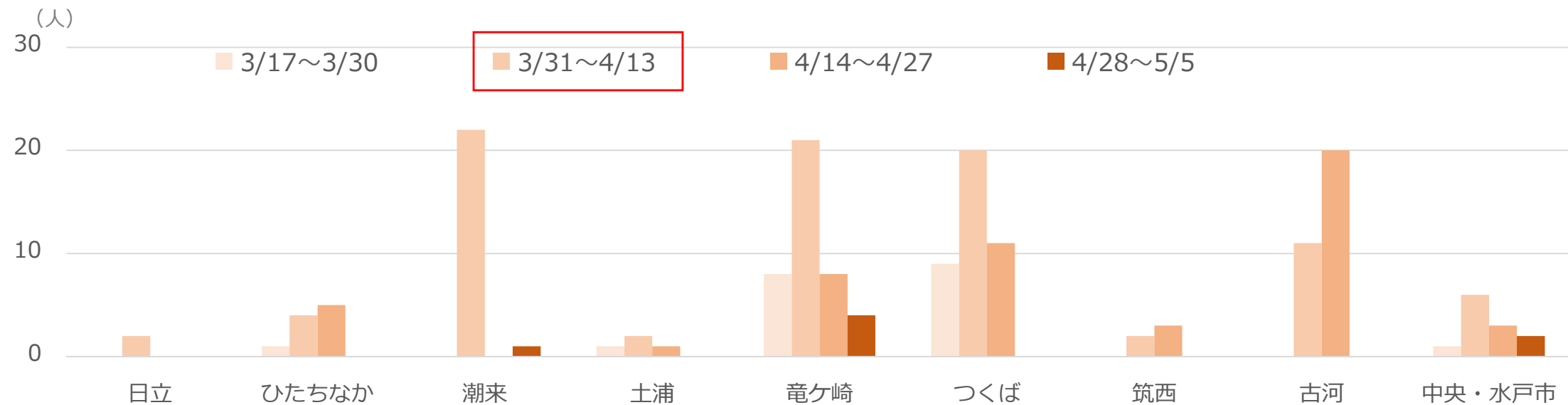


新型コロナウイルス感染症 県内陽性者の状況



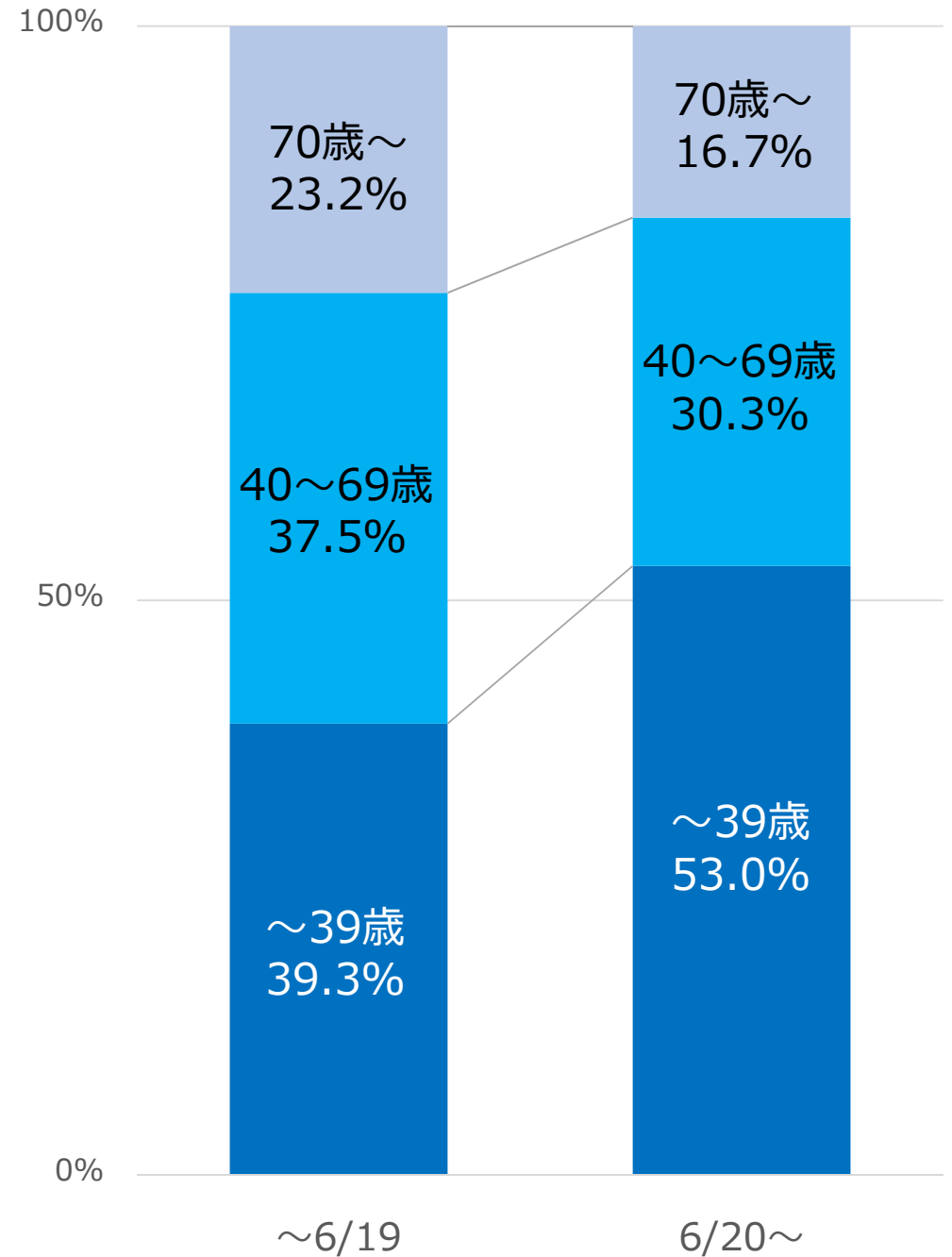
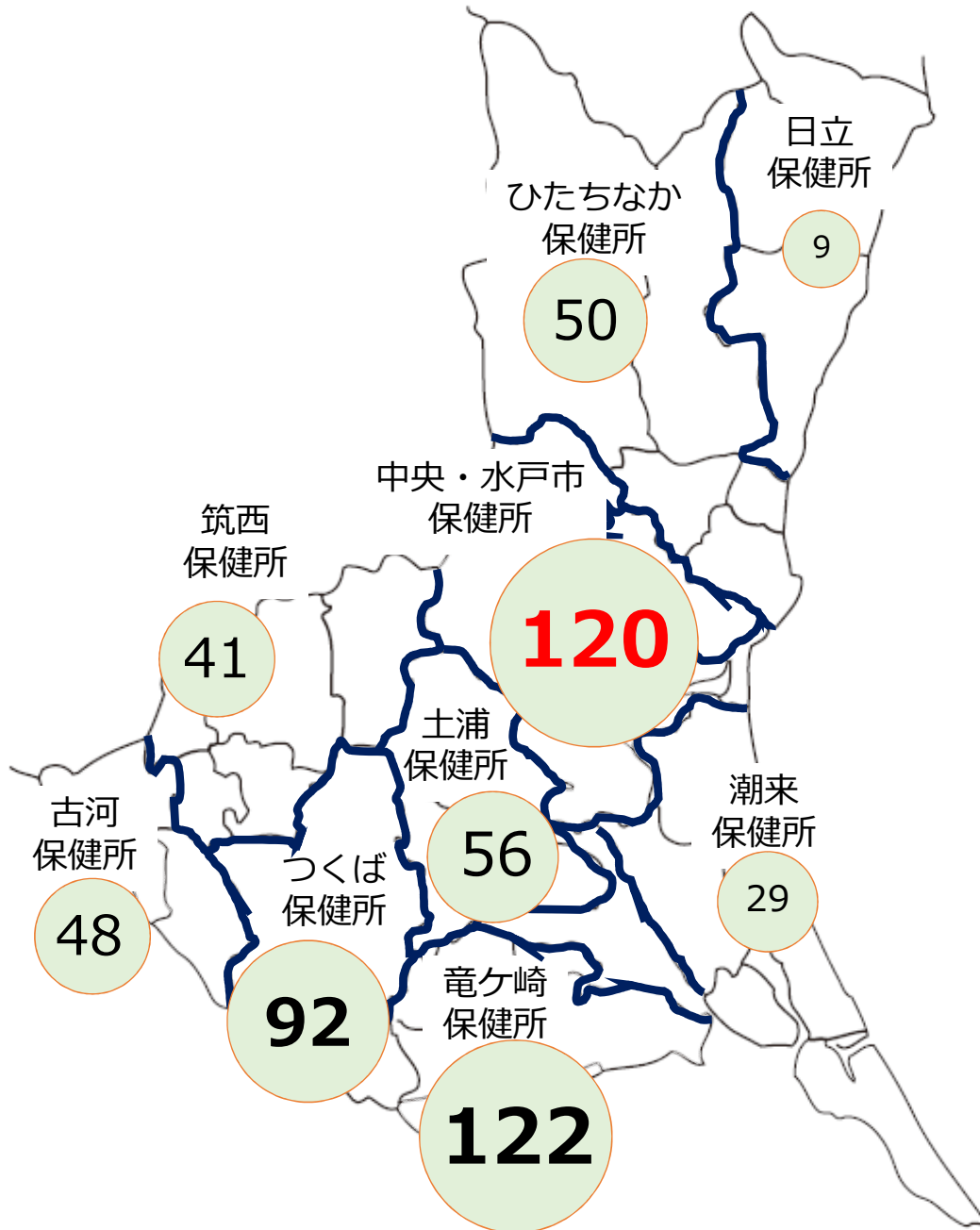
※「退院・退所等」には、入院中の陰性化確認により新型コロナウイルス感染症の治療終了、自宅療養中の陰性化確認により療養終了等を含む。
 ※PCR検査件数については、曜日・休日等により数の増減が生じることから、傾向を適切に把握するために1週間平均を用いている。

各保健所管轄の陽性者数の推移（2週間ごと）



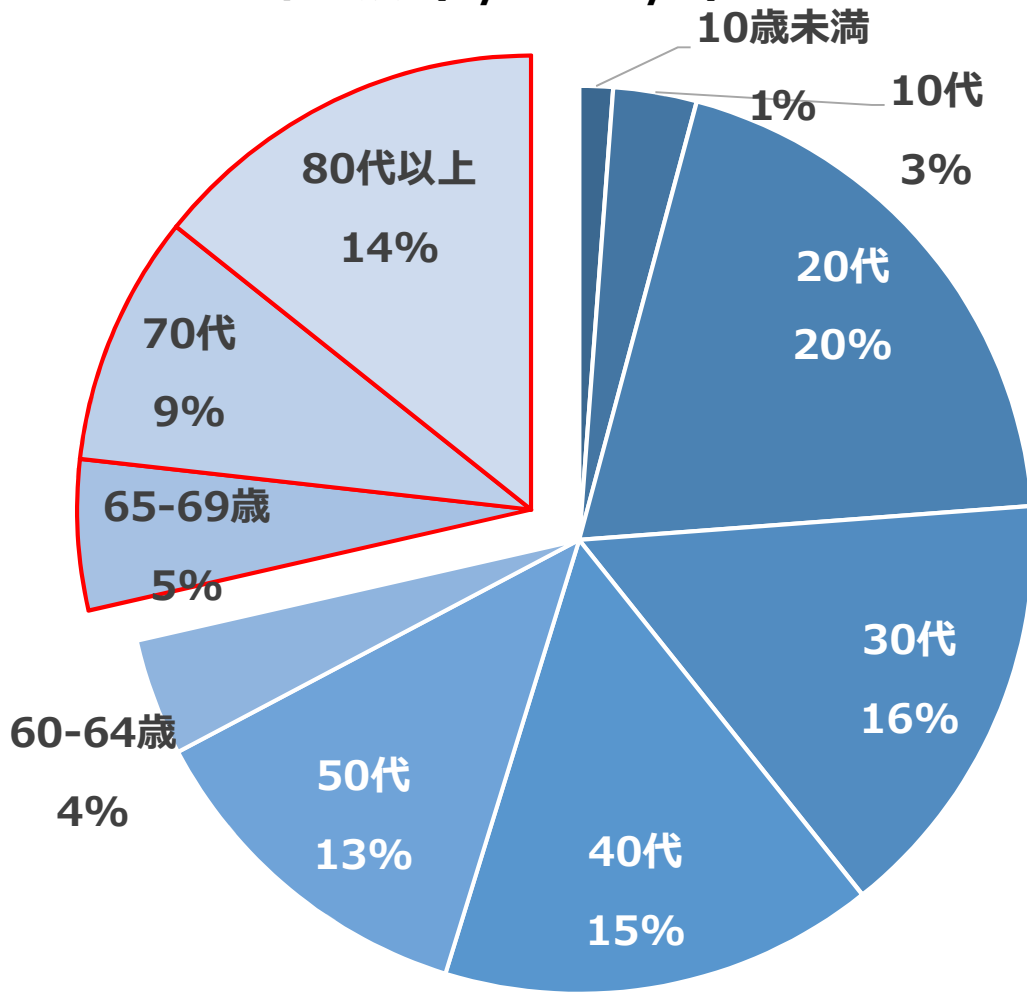
茨城県における現在の感染状況

6/20以降陽性者：567名 (2020.10.22現在)



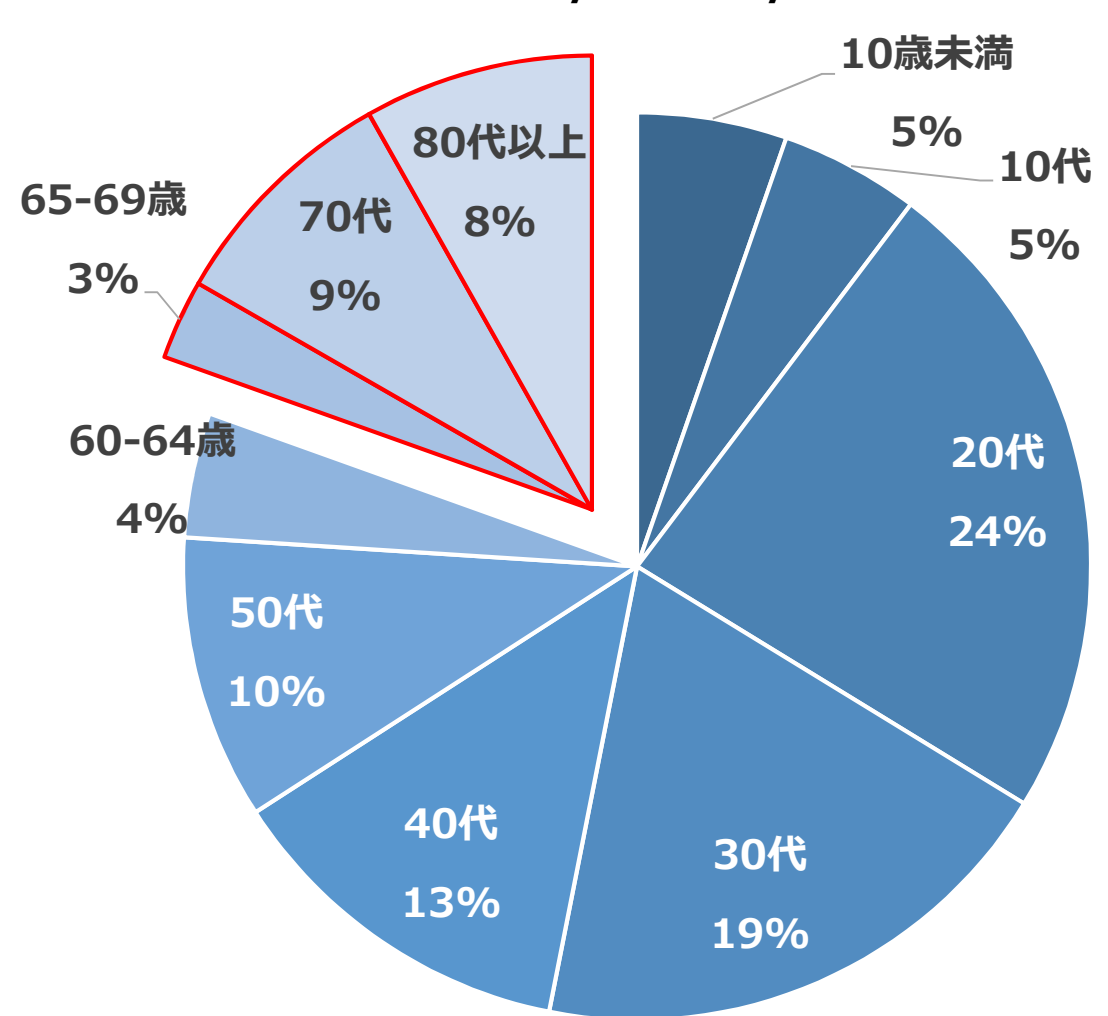
陽性者の年齢階級別内訳 (3/17~10/22)

第1波 (3/17~5/5)



陽性者総数 168名
うち、**65歳以上 48名 (28.6%)**

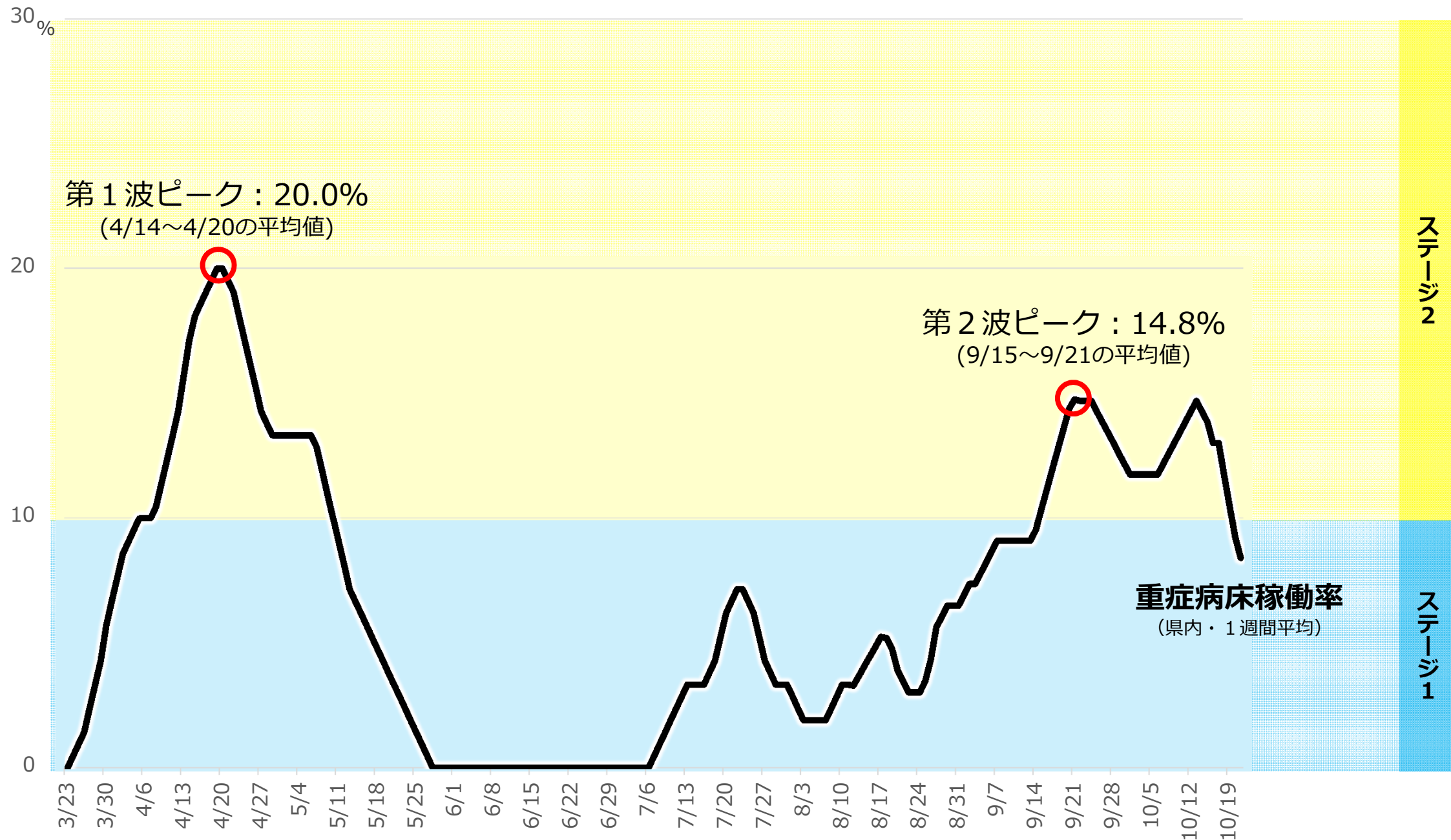
第2波 (6/20~10/22)



陽性者総数 567名
うち、**65歳以上 111名 (19.6%)**

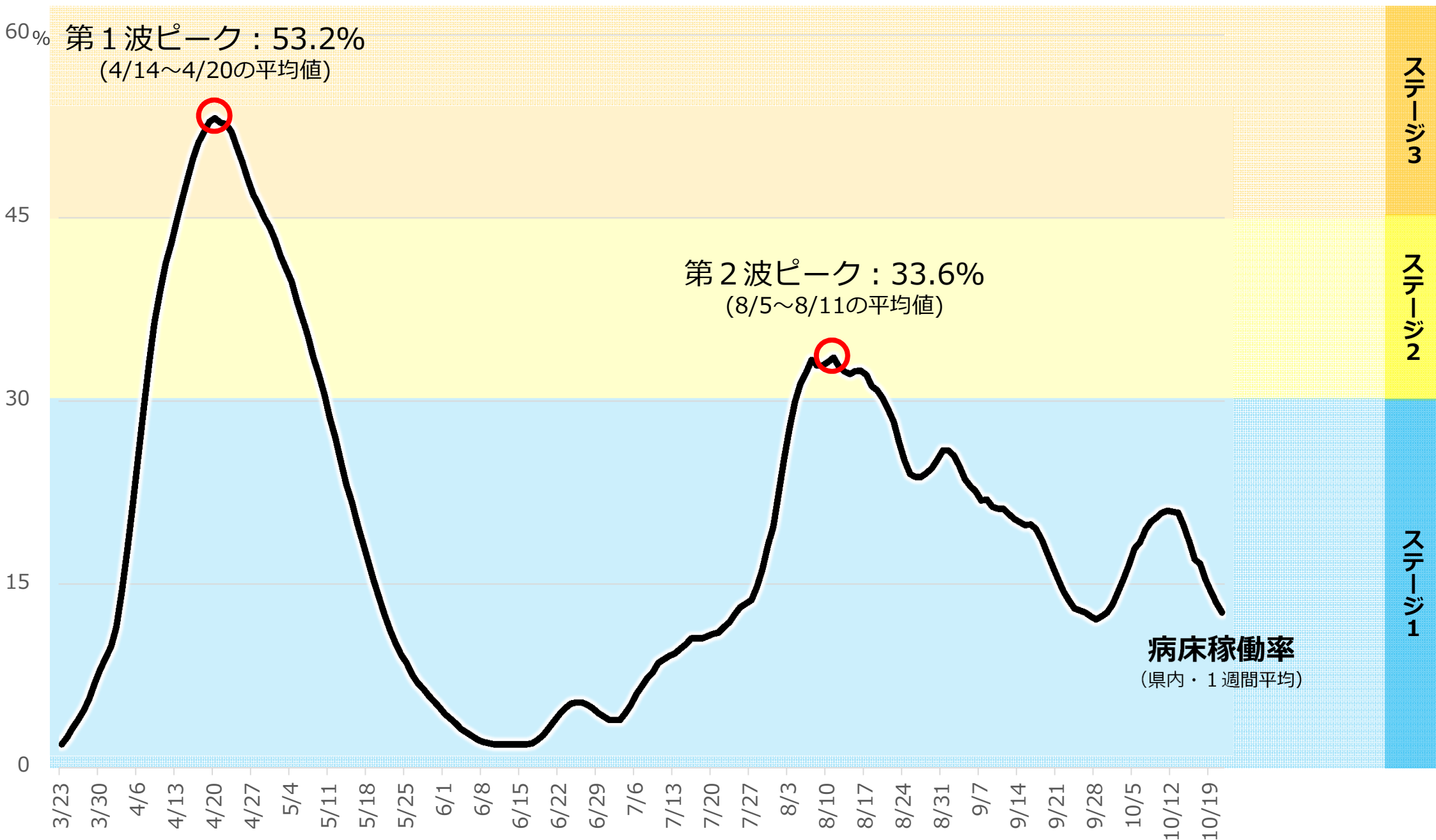
※65歳以上は重症化リスクが高いとされる。

県内の医療提供体制（重症病床）



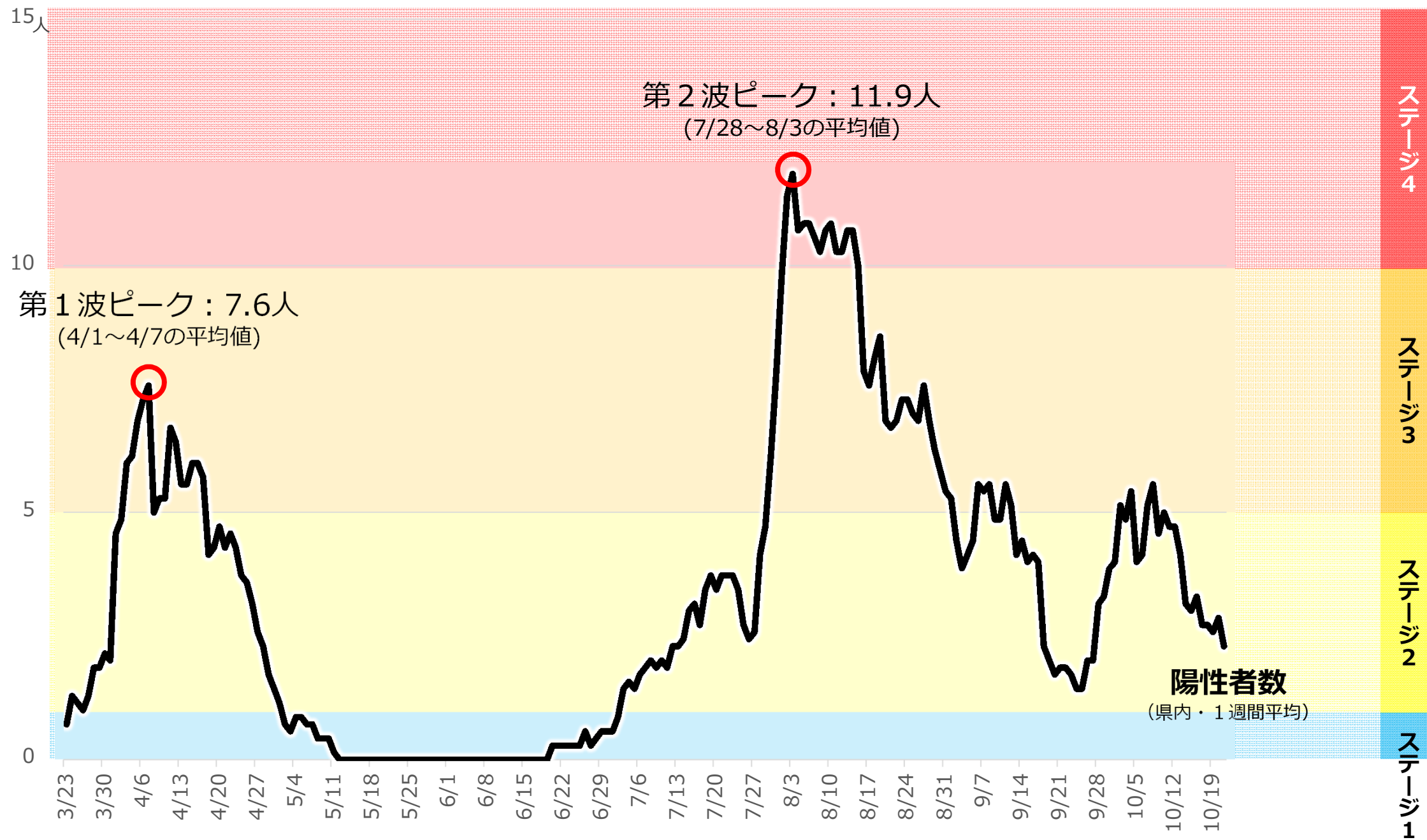
※6/17から、空港検疫で確認された陽性者による病床利用を算入している。

県内の医療提供体制（病床全体）



※6/17から、空港検疫で確認された陽性者による病床利用を算入している。

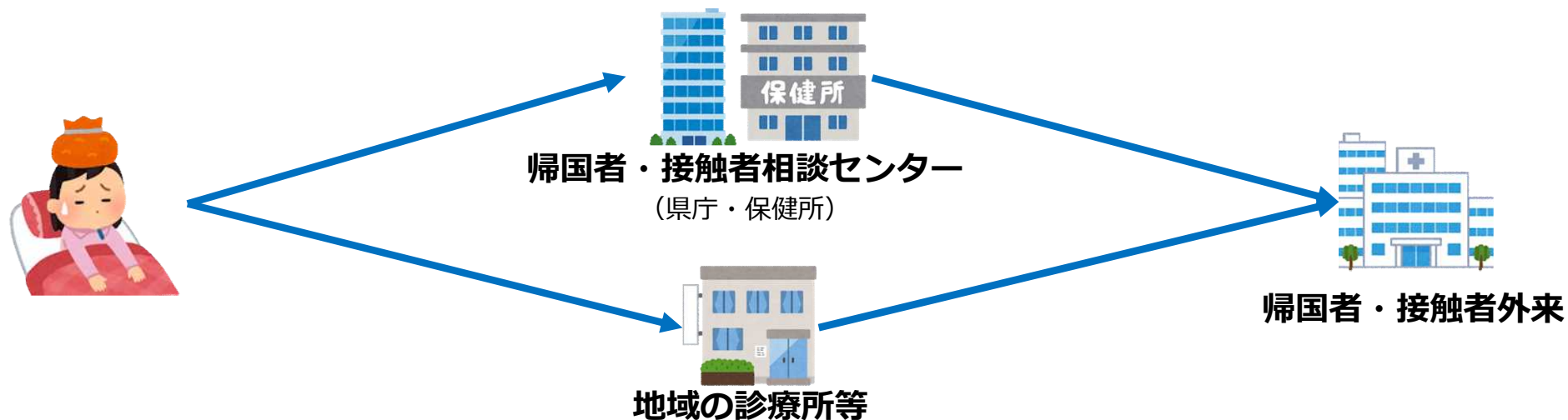
県内の感染状況（陽性者全体）



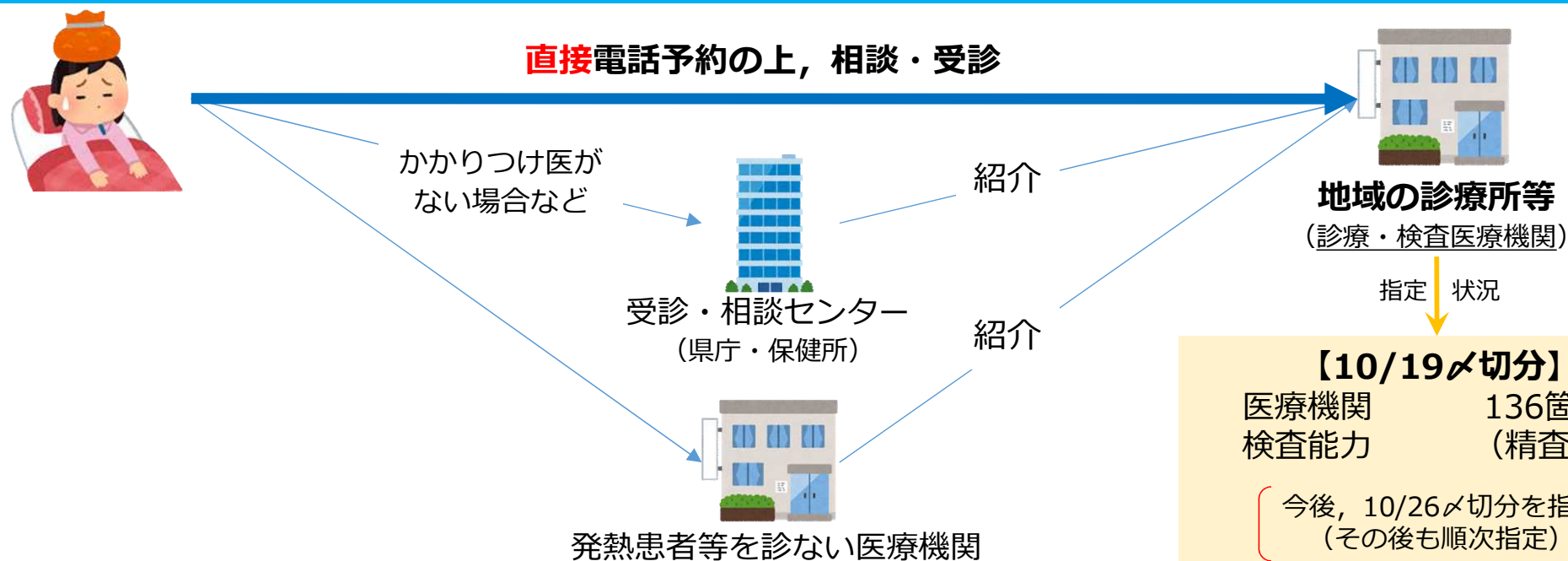
インフルエンザ流行に備えた検査プロセスの見直し

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症を見分けることが困難なため、新たな診察・検査体制の構築に着手

これまで



10月中旬に体制を整え



11月中

【10/19〆切分】

医療機関 136箇所
検査能力 (精査中)

〔 今後、10/26〆切分を指定
(その後も順次指定) 〕

【目標】

医療機関 518箇所
検査能力 11,000件/日

条例の施行について

- 10/2, 「茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例」が施行されました。

条例のPoint (3つの柱)

① いばらきアマビエちゃんの登録義務化
(義務対象業種及び利用者)



② 県が行う行動調査・幅広い検査への協力義務化



③ 不当な差別的取扱いの禁止



事業者・県民の皆様へお願い

事業者の皆様

義務対象の施設・店舗等は、登録と宣誓書の提示をお願いします。

県民の皆様

利用日ごと、施設・店舗等ごとに利用登録をお願いします。

県民の皆様

県が行う行動調査や、感染拡大地域での集中検査などの幅広い検査への協力をお願いします。

県民の皆様

感染者やその家族及び医療従事者等への不当な差別的取扱いを禁止します。

差別的行為の解消に向けた方策

人権啓発ポスター・チラシ・リーフレット等の作成

- 内容 正しい知識の啓発, 差別禁止啓発 ※医療従事者への励ましを含む
- 配布先 市町村, 医療機関, 学校関係, 事業者等

啓発動画等の作成

- 正しい知識や理解を図るための動画の作成
- スポーツ組織（サッカー, バスケット等）と連携し, 選手による人権尊重意識の啓発を目的とした動画の作成やSNSによるメッセージの発信

相談窓口の設置

- 増員等による既存の相談窓口の拡充 ※10/2から
一般県民向け（茨城県人権啓発推進センター）, 学校関係（いじめ・体罰解消サポートセンター）
※事案に応じて専門窓口を紹介。重大な人権事案については, 法務省の人権擁護機関につなぐ。

茨城県人権啓発活動ネットワーク協議会との連携による普及啓発活動

- 構成員 県, 法務局, 県人権擁護委員連合会, 市町村
- 活動例 JリーグやBリーグの試合会場での啓発活動の実施
【水戸ホーリーホック：10月4日（日）, 茨城ロボッツ：11月8日（日）】
市役所等の公共施設における特設人権相談窓口の開設 等